
とくがわますたー

乃衣助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とくがわますたー

【Zコード】

Z95031

【作者名】

乃衣助

【あらすじ】

俺、主人公トウマは超美少年です。自分大好きです。

孤独も大好きなちょっととかわった男子高校にかよう高校生でした。

友達作りたくないしーとかおもつて

毎日平和に生活していたはずがある日俺の野望が暴走していました

～まじしないで～（前書き）

立ち止まつていただき
ありがとうございます

トウマ視点でかきますので
お話のなかに一緒にタイムスリップした気分で
読んで頂きたくおもいます。

～ほいしないで～

「トウマ君一緒にこはんたべよーよ」

「お前といると肌あれんぜ！」

「一人で喰らつとけ！」

「俺はひさびさに怒鳴つた

いろいろいらしからでわない！」

ただ目立ちたかった

みんなひさびさに大声だした俺をみていたな！！！

だから俺は入学してきてから毎日

昼飯は教卓でひとり

教室を見渡してみんなに見られ噂されながらの昼食は

たまらない、、、だつて注目の的だろ？

もちろん昼食といつても食い物を噛むんじゃなく

「ワーーゲンをおいしそうに喉にながしこむ

流し込む液体もまたワラーーゲン

最初は話かけてきたやつがちからめりいだが

みんなもう俺に話かけない

「お前がきたらいボがでるわ！」とか

「おめーの話はつまらん！」

と吠えちらかしてやつたからな！

話したことねーけどな！

今日は入学して半年おれは
ランチを供にしたいなどと

言つてくる奴わもういないと思つて いたが、 、
珍しいな！！俺もてるから仕方ないな！

「男子校だけどな！」

あん時築けばよかつた本当に今日が
めずらしーーーーってことに。

～俺のせなしをあこへくれ～（前書き）

サブタイトルは「マのまなびで、じめこます。」

～俺のはなしをきいてくれ～

築けばよかつた――――――――――――

てもうおそれいけど

学校をおえた俺は

何が起ころるかも知らずにいつものよつて

紫外線対策をし家にかえった

俺の身長わ175くらいだから

紫外線対策のためおばちゃんのよつて

黒ずくめになつた

俺は本当に座しいやつにしかみえんのだ！

警察に止められずに

家には無事についたんだが

玄関の時点で

さつきまでが嘘だつたような

ありえない程の

激しい吐き気に襲われた

俺は人が嫌いだし家族も俺を嫌いなのか
家族とも別居していく

家のなか一人で吐き気にたえていたんだ

吐いたら楽になれると思った瞬間
ゲロに意思があるかのように

勢い良くてきてくれたんだ

ぐオー——————つて

超ながいゲロだつたぜ！

そして吐いてる途中ゲロなげ———つておもつて

目開けたらゲロじやなくて

内臓できな何かだつたんだ

一瞬夢かとおもつたけど

その内臓できなやつが
しゃべりだしたんだ

「ひるすぞ！」つて

そん時俺聞こえたけど

「俺のコラーゲン、、戻れよ……」つて
シカトして言つてしまつた

今おもうと初対面で「ひるすぞ！」つて

さすが俺からでたやつだよな

俺をシカトして長い体をフルにつかつて
そのまま首しめてきた、、、

そいつの思惑どりう俺死んだ・・

～俺のせなしをきこいくれ～（後書き）

読みでくださいありがとうございました
3話に続きます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9503i/>

とくがわますたー

2011年10月6日08時43分発行